

「気象百五十年史」の刊行について

気象庁では、気象業務150周年を迎えるにあたり、150年の時代の流れの中で、気象業務がどのような変遷をたどってきたかを記録し、気象業務の更なる発展の基礎とするため、「気象百五十年史」を編纂しました。

「気象百五十年史」は、6月2日に気象庁ホームページに掲載する予定です（URLは以下）。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/150th/chronicle.html>

「気象百五十年史」の主な内容は次の通りです。

○ 略史

気象業務 150 年の歴史を年表の形で、社会の出来事と対比しながら概略的に紹介しています。

○ 通史（約 50 ページ）

気象業務の全体を俯瞰して、おおむね 10 年ごとの主な出来事を記述しています。

○ 部門史（約 700 ページ）

気象業務に関する以下の各事項について、その詳細な歴史を記述しています。

- ・ 第1部 気象庁の運営
- ・ 第2部 防災
- ・ 第3部 国際協力・航空
- ・ 第4部 情報基盤
- ・ 第5部 大気海洋
- ・ 第6部 地震火山
- ・ 第7部 調査・研究
- ・ 第8部 沖縄気象台

また、気象業務の歴史に関係する写真やデータなどをまとめた「資料編」も併せて公開予定です。